

福 島 民 報

仲田種苗園(石川)など認定  
農商工等連携事業計画



認定書を受ける仲田社長(中央)

農商工等連携促進法に基づき農商工等連携事業計画に仲田種苗園(石川町)と環境ビジネスエージェンシー(東京都)の連携事業が認定された。八日、県庁で認定書が交付された。連携事業は、仲田種

苗園が建物の外装や屋上、壁面などに対応できる緑化システムを開発し、環境ビジネスエージェンシーが販売、施工する内容。仲田茂司仲田種苗園社長に小野寺正己東北農政局食品課長、田中一樹環境

ビジネスエージェンシープランナーに丸山佐知子東北経済産業局地域資源企業化支援専門官が認定書を手渡し

た。仲田社長は「東北発の事業として頑張りたい」と述べた。本県関係の認定事業計画は十一件となった。

福 島 民 友

仲田種苗園(石川)の緑化システム開発

農商工連携事業に認定

石川町の仲田種苗園(仲田茂司社長)と東京都の環境コンサルティング会社・環境ビジネスエージェンシー(鈴木敦子代表)による新たな都市緑化システムの開発、販路拡大が8日、国の農商工等連携促進法に基づき事業認定された。同日、東北経済産業局と東北農政局が福島市で認定証を交付した。



認定書を受ける仲田社長

認定された事業は、仲田種苗園が開発した、草花を軽量のマットに植栽し屋上緑化に使う技術を基に展開。草花は緑化する地域の生物多様性を崩さないような品種を選定、屋上床面だけではなく壁面などにも立体的に張り付ける「3D緑化システム」の技術を開発する。環境ビジネスエージェンシーは首都圏に持つ環境関連のネットワークを活用し、販路開拓に取り組む。事業計画書では、3D緑化システムの開発・販売で仲田種苗園は4年間で1億6500万円、環境ビジネスエージェンシーは販売や施工などで2億5800万円の売上高増を見込む。